

「IWC 2014」 木村酒造「大吟醸 福小町（山田錦）」 ゴールドメダル受賞！

株式会社東北新社（東京都港区・植村徹社長）のグループ会社である株式会社木村酒造（秋田県湯沢市・米山忠行社長）の主力銘柄「大吟醸 福小町（山田錦）」が、5月7日、「IWC 2014（インターナショナル・ワイン・チャレンジ 2014）」SAKE 部門 吟醸酒・大吟醸酒の部において、ゴールドメダルを受賞しました。

「IWC 2014」SAKE 部門には、7つのカテゴリー※に過去最多の 725 銘柄が出品されました。各カテゴリーでメダル表彰が行われた後、5月14日にはゴールドメダル受賞酒の中から「トロフィー受賞酒」が選出され、さらにトロフィー受賞酒で最も優れた銘柄に「チャンピオン・サケ」の称号が与えられます。

同銘柄は、2年前の「IWC 2012」において、「ゴールドメダル」、そして「トロフィー」を受賞し、最高賞の「チャンピオン・サケ」に輝きました。また、国内最大の日本酒コンクール「全国新酒鑑評会」では、金賞を連続受賞するなど、国内外において高い評価を得ている逸品です。

なお、「純米大吟醸 福小町（山田錦）」も昨年に引き続き、純米吟醸・純米大吟醸の部において、ブロンズメダルを受賞しました。

※7つのカテゴリー…純米酒、純米吟醸酒・純米大吟醸酒、本醸造酒、吟醸酒・大吟醸酒、古酒、スパークリング、オーディナリー

■「IWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）」

1984年に創立され、歴史と権威ある世界最大級のワインコンペティション。「SAKE部門」は、2007年に新設された。

■木村酒造

元和元年（1615）創業。名水百選の地、秋田県湯沢市で、昔ながらの寒造り一筋に努める酒蔵。400年もの歴史をもつ蔵を開放し、試飲コーナーや酒造りの歴史を学べる見学コースを設け、湯沢の新たな観光スポットとして注目を集めている。

■受賞酒の特長

「大吟醸 福小町（山田錦）」：高級酒米の山田錦を40%に精米。

華やかな吟醸香で数々の受賞歴を誇る。華やかな吟醸香とキレイな味わい。何一つ欠けることのない絶妙なバランスで酒好きな通をもうならせる逸品。

使用米：山田錦／精米歩合：40%／アルコール度数：16.5% /
日本酒度：+2.5 / 酸度：1.4

■木村酒造ホームページ <http://www.fukukomachi.com/>

